

No.140
**県議会
 とちぎ**
 〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20
 TEL 028-623-3772
 FAX 028-623-3755
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
 HPアドレス https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/

第369回通常会議(令和2年12月10日~12月25日)

令和2年度一般会計補正予算、知事等の給与の特例に関する条例の制定等を可決

第369回通常会議では、本会議における質疑・質問や予算特別委員会における総括質疑などが行われました。本通常会議では、知事から提出された栃木県一般会計補正予算など15議案と議員から提出されたデジタル社会の実現を求める意見書など3議案が上程され、全て原案のとおり可決されたほか、報告が1件ありました。請願・陳情については、2件が継続審査、1件が採択、2件が不採択となりました。

補正予算においては、新型コロナウイルス感染症に関し、発熱患者等に対応する診療・検査医療機関及び保険薬局の体制強化を図るなど、第3波に備えた対策を強化するための事業等が盛り込まれました。また、第367回通常会議から継続審査となっていた令和元年度栃木県電気事業会計未処分利益剰余金の処分など4議案が原案のとおり可決され、令和元年度栃木県病院事業会計決算など7件が認定されました。

可決された主な議案

- 令和2年度栃木県一般会計補正予算(第7号)
- 知事等の給与の特例に関する条例の制定について
- 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
- 栃木県立産業技術専門校条例の一部改正について
- 栃木県都市公園条例の一部改正について
- 栃木県立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について

可決された意見書

- デジタル社会の実現を求める意見書
- 国土強靱化対策の継続的な推進を求める意見書
- 国民の祝日「川の日」の制定を求める意見書

採択された陳情

- 「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情

第370回臨時会議(令和3年1月15日)

新型コロナウイルス感染症対策の補正予算を可決

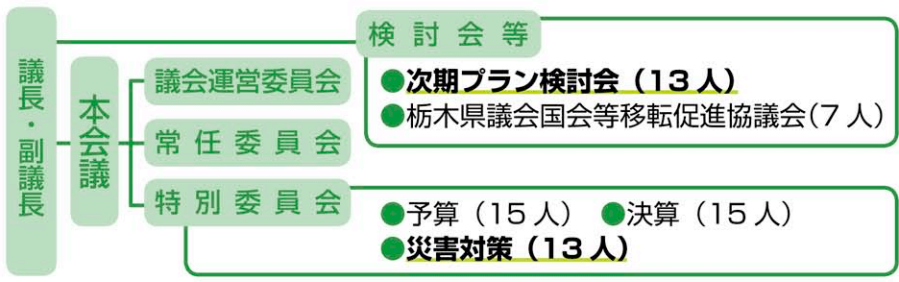
第370回臨時会議では、本県が国の緊急事態宣言の対象区域に追加されたことを受け、営業時間短縮の要請に応じた事業者への協力金の支給を行うために編成した知事提出の令和2年度栃木県一般会計補正予算(第8号)が上程され、所管常任委員会に付託し、審議が行われた後、原案のとおり可決されました。



とちまるくんのなるほど! 県議会~特別委員会及び検討会等紹介~



特別委員会は、県政運営において特に重要であると判断された場合に、特定の事項を審査・調査するために議会の議決により設置されます。検討会等は、県政の課題などについて調査や協議等をするために議長の諮問を受けて設置されます。今回は、災害対策特別委員会と次期プラン検討会の活動について紹介します。



災害対策特別委員会



令和元年東日本台風をはじめとする大規模自然災害を教訓とした災害に強い地域づくりを実現するとともに、防災分野におけるICTや未来技術等の効果的な活用について検討するため、設置されました。



▲改良復旧箇所等を現地調査(6月30日)

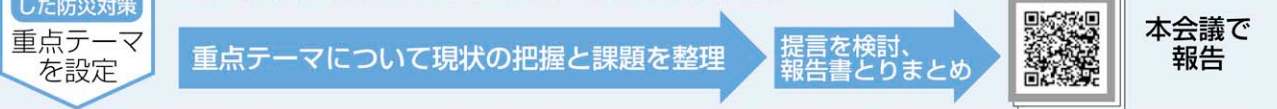


▲参考人招致の様子(10月14日)



▲調査活動の成果を報告(12月10日)

- 避難所や防災体制などのソフト対策について質疑を実施
- 災害復旧事業等のハード対策について現地調査や質疑を実施
- ICT等の利活用状況、未来技術を活用した防災対策等について質疑を実施
- 参考人を招致し、国や民間企業等の動向を調査

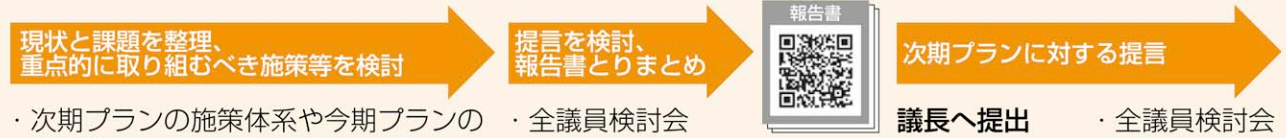


4月 > 5月 > 6月 > 7月 > 8月 > 9月 > 10月 > 11月 > 12月 > 1月

次期プラン検討会



県政の指針である次期プランの策定に当たり、元気で活力に満ちた「とちぎ」の実現を目指すためのビジョンを明確に描き、本県独自の施策や本県の強みを生かした施策を盛り込む必要があることから、県議会として必要な提言を行うために設置されました。



- 次期プランの施策体系や今期プランの評価等について質疑を実施
- 全議員アンケートの実施
- 全議員検討会



▲全議員検討会(8月4日)



▲議長に報告書を提出(10月9日)

※2月上旬
とちぎ未来創造
プラン(仮称)公表





◎第369回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容◎



代表質問 (12/14)
い が ら し きよし
五十嵐 清
(とちぎ自民党)
[小山市・野木町]

○市町との連携・協働と「地域重視」の県政

問 県政における重要課題の解決には、これまで以上に市町との連携や協働が重要になってくる。今後、中核市である宇都宮市などの市町とどのように役割を分担し、どのように連携、協働していくのか。また、知事の訴える「地域重視」の県政とは、具体的にどのような考えか。

答【知事】市町が住民ニーズを的確に把握し、主体的に施策の展開ができるよう、市町との適切な役割分担のもと、連携・協働を一層強化していく。さらに、これまでの「市町村重視」を基本としつつ、「地域重視」の視点も取り入れ、各地域の状況を市町と共に丁寧に把握し、県民と距

離の近い県政を推進する。また、宇都宮市との連携については、教育や子育て支援など、効率的な連携のあり方について協議していく。

○次代を拓く特色ある高校教育の推進

問 次期教育振興基本計画策定の議論が進む中、将来の社会環境の大きな転換を見据えた高校教育が求められる。特色ある高校教育を今後どのように進めるのか。また、学級数の削減が見込まれる中、検討、協議のなされる場が必要と考えるがどうか。

答【教育長】これからの県立高校の在り方を議論するため、有識者会議を設置する。有識者会議の提言も踏まえ、県立高校の将来構想を策定し、本県の未来を力強く切り拓いていく人材の育成に向けた魅力と特色ある高校教育を推進する。

このほか 知事選公約と次期プランの策定、新型コロナウイルス感染症対策など



一般質問 (12/14)
や ま だ
山田 みやこ
(民主市民)
[宇都宮市・上三川町]

○婦人保護事業

問 困難な問題を抱える女性の支援に大きな役割を果たす婦人保護事業の充実のためには、入り口となる相談業務に対応する婦人相談員の体制整備が必要であるが、常勤職員への登用や、実践的な研修の実施、サポート体制の整備などの処遇改善や専門性の更なる向上にどのように取り組んでいく考えか。

答【県民生活部長】今後、新任相談員への基礎研修や社会情勢に応じた専門研修の実施など、研修の一層の充実を図っていくとともに、管理的地位にある職員に対する研修も実施していきたい。また、処遇についても、国の動向等を注視していくとともに、引き続き適切な在り方について検討していく。

○香料による化学物質過敏症への対策

問 対策としては、香料による化学物質過敏症について周知し、公共施設などの人が多く集まる場では香料の使用を控えるよう呼びかけていくことが有効であるが、香料による化学物質過敏症について、どのように認識し、周知等の対策にどのように取り組んでいくのか。

答【保健福祉部長】香りによる不快感や心身の不調を訴える方がいることは承知しており、一人ひとりが配慮する意識の向上を図ることが重要であることから、香りの感じ方には個人差があることや、人が多く集まる場所では周囲に配慮した使用を心がけるよう、県民への啓発や情報発信に取り組んでいく。

このほか おいでよ！とちぎ館、「にんしんSOS」の設置など



一般質問 (12/14)
の ざ わ かずいち
野澤 和一
(公明党)
[宇都宮市・上三川町]

○森林環境譲与税を活用した林業・木材産業の振興

問 多くの市町では森林環境譲与税の積極的な活用が進んでいるとは言えない。県として、税の効果的な使い方について今後どう助言・支援していくのか、また、市町と連携しながら、木材利用や人材の確保・育成に積極的に活用していくべきと思うがどうか。

答【環境森林部長】県では、市町などが森林情報を共有できるクラウドシステムを令和3年度から稼働する予定。市町が譲与税を積極的に活用できるよう、先進事例の紹介や技術的助言など、きめ細かな支援を行う。県の譲与税についても県有施設等の木造・木質化のほか林業人材の確保・育成にも効果的に活用していく。

○ウィズコロナ時代の中小企業への支援強化

問 地域経済の根幹をなす中小・小規模事業者が長引く困難を乗り越え、未来に希望を持って事業に取り組めるよう、事業継続、相談窓口の充実、事業承継の3つの角度から全力を挙げて支援すべきであるが、これらの支援に今後どう取り組んでいくのか。

答【産業労働観光部長】12月補正予算にて中小企業等が行う感染症対策への助成制度を創設し、事業継続を支援することとしたほか、県や栃木県産業振興センターへ相談窓口を設ける等きめ細かに対応できる相談体制の構築に努め、さらに、「とちぎ地域企業応援ネットワーク」において県事業引継ぎ支援センターを中心に円滑な事業の引継ぎを支援していく。

このほか VUCAの時代における地域課題と未来技術の導入・活用、こども医療費の無償化の対象拡大など



一般質問 (12/16)
な か じ ま ひろし
中島 宏
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]

○林業大学校の整備

問 本県における林業・木材産業の成長産業化及び新規林業就業者の定着を図るためには、就業前後の研修をはじめ、指導者・経営者を育成する総合的な研修体系を整備し、栃木モデルともいえる人材育成システムの構築に取り組むべきであり、林業大学校の創設について方向性を示すべきと考えるがどうか。

答【知事】多様な人材を総合的に育成する全国に誇れる栃木モデルの人材育成システムを構築するとともに、その中核となる林業大学校を設置する。今後、設置場所も含めた人材確保育成方針を策定し、来年度から施設整備と具体的なカリキュラム等の検討に着手する。

○家畜防疫対策

問 豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病が全国で発生し、畜産農家は家畜伝染病のリスクにさらされている。家畜伝染病が発生すると、本県の畜産業に大きな影響があると考えられるが、家畜伝染病の防疫対策について現在の取組と今後の対策を伺う。

答【農政部長】豚熱対策として、飼養豚へのワクチン接種の徹底や野生イノシシの捕獲を強化し、県北部に経口ワクチンを重点的に散布するとともに、鳥インフルエンザ対策として、衛生管理の遵守状況を点検したほか、緊急消毒用の消石灰を配布していく。また、家畜伝染病の発生に備え、家畜伝染病防疫演習を県内各地で継続して実施していく。

このほか 「文化と知」創造拠点構想の策定、LRTのJR宇都宮駅西側延伸など



一般質問 (12/16)
そ う ま まさし
相馬 政二
(静和)
[那須塩原市・那須町]

○県職員及び教職員による不祥事の未然防止や再発防止

問 県職員と教職員の不祥事が散発しており、原因の所在を究明する必要があると考えるが、不祥事の未然防止や再発防止に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

答【知事】研修の充実や所属長からの指導等を徹底するとともに、職員が高い規範意識を持って行動することで、県民に信頼される県政の推進に努める。

【教育長】コンプライアンス意識の定期的な確認や不祥事防止の研修等、市町教育委員会や校長会と連携し、倫理観・使命感の向上を図り、信頼される教職員の育成に努める。

○橋りょうやトンネル等のインフラ老朽化対策

問 県、市町管理の橋りょうやトンネルで、レベルⅢ及びⅣと判定されたものの、修繕等を完了したものがどの程度あり、いつ頃までに修繕等が完了するのか。併せて、市町にどのような支援や指導を行い、今後どのような対応を図ろうと考えているのか。

答【県土整備部長】県管理では、レベルⅢの橋りょうが186橋、トンネルが14箇所あり、昨年度までに81橋と11箇所の修繕が完了し、令和5年度にはすべて対策を完了させる。市町管理では、レベルⅣの橋りょうが5橋、Ⅲの橋りょうが約400橋、トンネルが8箇所あり、修繕等の対策を進めていると聞く。市町に対し、講習会や現場見学会等を行っており、今後も積極的に支援していく。

このほか 災害時における電力トリアージ、女子選手のスポーツ障害予防など



一般質問 (12/16)
こ す げ てつお
小菅 哲男
(とちぎ自民党)
[さくら市・塩谷町]

○持続的な農業の発展～地域農業の維持・発展～

問 知事は、先の知事選で掲げた「栃木の挑戦2020」において、「とちぎ広域営農システム」の構築を進めることとしているが、どのような考え方で取組を進め、地域農業の維持・発展につなげていくのか。

答【知事】集落の範囲を超えて広範囲に農地を引き受ける担い手と、地域住民が参画し地域で支える営農の仕組みを、「とちぎ広域営農システム」として構築していく。担い手の確保に当たっては、現在進められている「人・農地プラン」の実質化を踏まえ、既存の集落営農組織の再編や企業の新規参入、さらには市町や農業団体等からの出資による法人設立も視野に入れ、取り組んでいく。

～米の輸出拡大～

問 コロナ禍で積極的な輸出の取組が困難となっている今こそ、本格的な輸出再開に備え、輸出に対応できる米産地の体制をしっかりと整えて、戦略的に県産米の輸出を拡大していくことが重要であるが、県産米の輸出拡大に向け、今後どのような考えで取り組んでいくのか。

答【農政部長】海外向けのPR動画の作成やサイトの開設により、県産米の魅力やデジタル技術を活用して発信していく。また、価格競争力を高めるために、収穫量の多い品種の導入に加え、ドローンや自動水管理システム等の省力化技術の活用に取り組む産地づくりを進め、輸出用米の栽培面積の更なる拡大を図っていく。

このほか 介護人材の確保、健康寿命を延ばす取組など

注()は所属党派 / (とちぎ自民党) とちぎ自民党議員会、(民主市民) 民主市民クラブ、(公明党) 公明党栃木県議会議員会、(静和) 静和の会、(新鹿) 新鹿会 / 党派名は質問日時点 / []は選挙区

◎質問日 令和2年12月14日、12月16日、12月17日◎



一般質問 (12/16)
ことより まさお
琴寄 昌男
(とちぎ自民党)
[栃木市]

○とちぎの魅力度アップに向けて

問 地域ブランド調査2020の魅力度ランキングで本県は初の47位となったが、私はこの機会をチャンスと捉え、魅力度アップのために、まず知名度を上げることが重要だと考える。県は、魅力度アップに向けてどう取り組んでいくのか。

答【知事】注目度が高まっているこの状況を好機と捉え、「47(そこ)から始まる栃木県」プロジェクトで集中的な情報発信を行う。また、次期とちぎブランド取組方針では、個々の地域資源のブランド力を向上させることにより、地域活性化を図る。今後は、デジタル時代に適した手法を取り入れ、「栃木ファン」の強化・拡大を図り、ブランド力の向上に努めていく。

○企業誘致に向けた産業団地の整備

問 国の工場立地動向調査(速報)によると、本県の2020年上期の立地件数は全国4位、立地面積は全国1位だった。しかし、売り物である産業団地のストックが減少していると聞く。そこで、県は、企業誘致を推進するため、産業団地の整備についてどう取り組んでいくのか。

答【産業労働観光部長】産業団地の分譲が順調に進み、分譲可能面積が減少しているため、新とちぎ産業成長戦略では今後5年間で200haの整備目標を掲げ、産業団地開発の基本方針の見直しを進めている。今後、市町と連携しながら、インターチェンジ周辺等企業ニーズに応えられる産業団地の整備に積極的に取り組む。

このほか 医師確保対策、地域における中学生の運動部活動など



一般質問 (12/17)
はやかわ けいこ
早川 桂子
(とちぎ自民党)
[佐野市]

○国道50号沿線における産業団地の新たな整備

問 産業団地の整備要望のある市町とは、連携を密にしながら協力し合い、積極的な産業団地の整備に努めていく必要があると考えるが、佐野市から要望がある国道50号の沿線における産業団地の新たな整備についての所見を伺う。

答【産業労働観光部長】佐野市から産業団地整備の要望がある国道50号沿線は、東京圏への近接性や優れた交通利便性など、企業の進出先としての高いポテンシャルを有していると認識しており、今後とも、佐野市をはじめ開発に意欲的な市町と連携・協力しながら、スピード感を持って新たな産業団地の整備に努めていく。

○とちあいかの戦略的なPR ~愛されるいちごを目指して~

問 とちあいかは、これからのいちご王国をリードする期待の新品種であり、消費者の心をつかむPRを戦略的に展開する必要があると考えるが、コロナ禍により多くの制約が課されている中で、どのようにPRを展開し、販売促進に向けて取り組んでいくのか。

答【農政部長】令和3年1月から関東圏を中心にPR動画を配信する。また、量販店等の県産いちごフェアの会場にディスプレイを設置し、消費者が生産者とオンラインで対話しながら、とちあいかの良さを実感できる環境を整備するなど、消費者に愛される果実となるよう戦略的にPRを行っていく。

このほか 栃木県版サンドボックスの創設、一級河川小曾戸川における治水対策など



一般質問 (12/17)
ゆざわ ひでゆき
湯澤 英之
(新鹿)
[鹿沼市]

○ヤングケアラーへの支援

問 ヤングケアラーとは、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話、介護等を行っている18歳未満の子どものことであり、その多くが外部の支援を受けられていない状況にある。ケアが過度な負担になっている場合は、様々なサービスにつなげる必要があると思うが、どう支援していくのか。

答【保健福祉部長】民生委員や県民向けの研修会等を通じてヤングケアラーの理解促進に努める。また、国が今年度実施予定の全国調査の結果を踏まえ、どのような支援策が可能か、教育委員会、市町等関係機関と連携しながら検討していく。

○災害時における避難行動要支援者の支援体制

問 災害時において自力での避難が難しい高齢者や障害者は「避難行動要支援者」と位置付けられ、市町が名簿の作成や個別計画の策定をしているが、更新や見直しに苦慮していると聞く。市町の現状をどう把握し、どう取り組んできたのか。また、災害時における要支援者の支援体制についてどう考えるか。

答【保健福祉部長】市町への調査から、名簿公開への本人同意や地域の避難支援関係者の確保等が課題であると明らかになった。要支援者に個別計画策定の必要性を周知し、名簿公開の同意取得を促進していく。また、自治会や民生委員、福祉関係者等が避難者支援に効果的に関わり、地域で要支援者を支え合う体制づくりに向けて市町を支援していく。

このほか 気候変動対策推進計画、新規就農者の確保・育成など



一般質問 (12/17)
かねこ たけし
金子 武蔵
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]

○外国資本などによる土地買収

問 県が行った外国資本などの土地買収の抑止策としての他県条例の効果の研究結果と、県の現在の外国資本の土地買収についての認識、今後県として、我々の公共財である公的・多面的機能を有する森林や水源地などの県土を、どのように外国資本などから守っていくのか、その取組を伺う。

答【環境森林部長】他県では条例による事前届出により、土地取引の把握を行っている。本県では、市内及び市町との協議会等の設置や、開発行為発生時の対応などを定めた指針により、情報の収集や共有に努めている。また、不適切な開発行為等の規制のため、森林法に基づく制度の適正な運用を図り、指導を徹底している。

○コロナ禍での雇用問題 ~就職氷河期世代の就労支援~

問 とちぎ就職氷河期世代活躍支援プラットフォームの事業実施計画では、3年間で県内の正規雇用者を約5,600人増やすことを目標に掲げているが、コロナ禍において、目標達成に向けどのように取り組むのか、意気込みを伺う。

答【産業労働観光部長】コロナ禍でも就職氷河期世代への就労支援は重要であるため、上記プラットフォームの構成団体が、様々な事業に取り組んでいる。また、県では、キャリアカウンセリングや企業求人開拓、就職氷河期世代限定の求人制度等の周知等に取り組むなど、一人ひとりの状況に応じた就労支援により目標達成に向け、取り組んでいく。

このほか 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策、台湾との交流の推進など



一般質問 (12/17)
いたばし かずよし
板橋 一好
(とちぎ自民党)
[小山市・野木町]

○福田県政の仕上げ ~行政機構の見直し~

問 本県では行政機能の見直しは考えているのか。国の機構が変われば、県の組織も変わることもあり、この際検討してもよいのではないかと。例えば、観光関連部門についてはインバウンドの重要性が増すことから、農産物等の輸出部門と合わせて局クラスとして独立させてはどうか。また、選挙戦中には災害局の話もあったが、どう考えるか。

答【知事】新型コロナウイルス感染症対策や災害対応等の安全・安心、ブランド力の向上及び営業力の強化、さらには、デジタル社会に向けた取組などの今日的な課題に的確に対応できる機能的な行政機能の確立に向けて、具体的な検討を進めて参る。

○懸案事項 ~渡良瀬遊水地の県立自然公園化~

問 渡良瀬遊水地の県立自然公園化については、これまでも言い続けてきたが、地元からの一致した要望はされなかった。しかし、今回、栃木、小山、野木の2市1町で要望がなされる。大きな前進だと思う。掘削工事終了後には公園化すると県の方向付けを明確にもらえば、地域にとって大きな励みになるのでは是非お願いしたいが、どうか。

答【知事】洪水調節機能を有した重要な湿地であるとともに、栃木県が誇る優れた自然風景地でもある渡良瀬遊水地の魅力を最大限引き出せるよう、国や関係市町の御意見も十分に伺いながら、保全・保護や利活用のあり方を引き続き検討して参る。

このほか 県出資法人の見直し、新4号国道の準高速道路化など

質疑・質問の様子をご覧ください

● 議会生中継

本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)の様子は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、県議会ホームページにより生中継を行っています。(映像は手話通訳付き)

● インターネット録画配信

過去の質疑・質問の様子や県議会広報テレビ番組等を県議会ホームページで視聴できます。



● 県議会広報番組 「県議会ハイライト」

県議会本会議での質疑・質問や委員会の活動の様子などを、とちぎテレビ「県議会ハイライト」でお届けしています。

【放送予定】 2月7日(日) 正午~午後0時30分



常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

県政経営委員会

○12月10日
本会議において委員長が、「デジタル戦略の策定」に関する調査結果を報告しました。
○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査、付託議案3件の審査及び陳情2件の審査を行いました。また、栃木県国土強靱化地域計画の改訂(素案)等について報告を受け、質疑を行いました。

生活保健福祉委員会

○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査、付託議案1件の審査及び陳情1件の審査を行いました。また、第11次栃木県交通安全計画(素案)や栃木県国民健康保険運営方針の改定等について報告を受け、質疑を行いました。

農林環境委員会

○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査及び付託議案1件の審査を行いました。また、国内での高病原性鳥インフルエンザの発生に伴う本県の対応や次期栃木県環境基本計画(素案)及び次期とちぎ森林創生ビジョン(素案)等について報告を受け、質疑を行いました。

経済企業委員会

○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査及び付託議案1件の審査を行いました。また、栃木県企業局経営戦略の改定(第2次素案)や次期産業プラン等(素案)などについて報告を受け、質疑を行いました。

県土整備委員会

○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査及び付託議案1件の審査を行いました。また、令和元年東日本台風からの復旧・復興のため徳島県から派遣されている応援職員の取組状況等について説明を受けました。

文教警察委員会

○12月10日
本会議において委員長が、「インクルーシブ教育システムの推進」に関する調査結果を報告しました。
○12月21日
第369回通常会議における調査依頼議案の調査、付託議案4件の審査を行いました。また、県立学校の災害復旧工事の状況や令和3年栃木県警察基本姿勢及び重点目標等について報告を受け、質疑を行いました。

予算特別委員会

第369回通常会議において予算特別委員会に付託された栃木県一般会計補正予算関連議案3件について、12月22日に総括質疑を行いました。

○質疑者: 8名(とちぎ自民党議員会3名、民主市民クラブ1名、公明党栃木県議会議員会1名、県民クラブ1名、えがの会1名、静和の会1名)

12月23日には、所管常任委員会において調査及び適否確認が行われた後、予算特別委員会で審査と採決を行い、全て原案どおり可決しました。



県議会トピックス

「いちご王国・栃木の日」記念ライブ配信

1月15日に県議会議事堂1階エントランスホールにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で「いちご王国・栃木の日」記念ライブ配信が行われました。

栃木SCチアーズ、西が岡保育園(宇都宮市)の園児たちによるダンスや宇都宮短期大学附属高校生活教養科の生徒によるファッションショーなどがライブ配信されたほか、益子町出身でタレントの井上咲楽さんがリモートで参加し、栃木のいちごの魅力を発信しました。



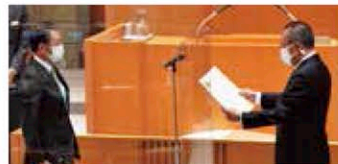
▲ダンスを披露する西が岡保育園の園児たち



▲宇都宮短期大学附属高校の生徒等との記念撮影 福田知事(左)、相馬議長(中央)

表彰

通常会議初日に、自治功労等の功績により、全国都道府県議会議長会、栃木県議会、栃木県知事から三森文徳議員(在職20年以上)と山田みやこ議員(在職15年以上)が、表彰されました。



▲表彰を受ける三森文徳議員(左)



▲表彰を受ける山田みやこ議員(左)

第368回臨時会議

第368回臨時会議が11月30日に開催されました。

本臨時会議では、知事提出の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例及び議員提出の皇嗣殿下の立皇嗣(りっこうし)の礼に関する賛詞奉呈決議の2議案が上程されました。

同日、職員の給与に関する条例等の一部改正についての議案が県政経営委員会に付託され、審査が行われた後、それぞれの議案について採決を行い、いずれも原案のとおり可決されました。

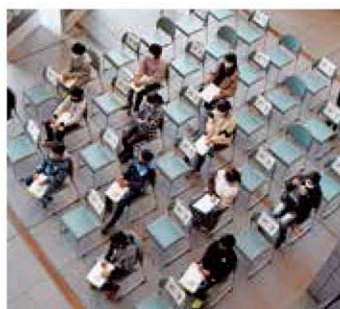
栃木県議会新型コロナウイルス感染症対策本部緊急連絡会議



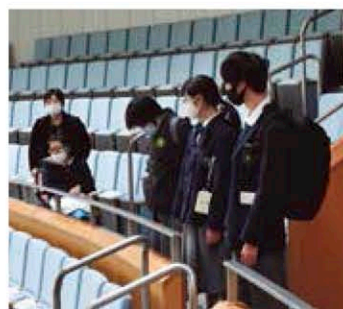
1月12日に第8回栃木県議会新型コロナウイルス感染症対策本部緊急連絡会議を開催し、所管部局から新型コロナウイルス感染症に関する現状と今後の対応等について説明を受け、質疑を行いました。

感染拡大に歯止めをかけ、医療崩壊を食い止めるため、関係機関等と連携し、各種対策に万全を期すよう所管部局に要請を行いました。

議会議事堂へようこそ ~見学の様子~



▲市貝町立小貝小学校6年生の見学の様子(11月19日)



▲県立のぞわ特別支援学校高等部2年生の見学の様子(12月11日)

小学生などの社会科見学や10名以上の団体の皆様を対象に、議会議事堂や県庁舎の見学案内を行っています。

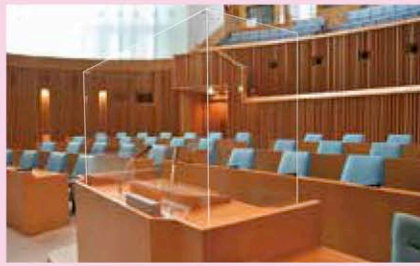
議事堂では、議事案内ビデオの視聴や6階にある傍聴席から議場の見学ができます。

【団体見学の問い合わせ先】 広報課県民プラザ室 ☎028-623-3757

県議会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策

議会では、議長席や演壇等にアクリルボードを設置し、随時卓上やマイクを消毒液で拭き上げるなど飛沫感染を防止しているほか、開会中はドアを開放して換気を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。



次回の通常会議

- 【主な日程】
2月17日(水) 本会議(開議、議案上程)
19日(金)、24日(水)、25日(木) 本会議(質疑・質問)
3月 2日(火) 常任委員会
4日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
5日(金) 常任委員会
9日(火) 本会議(採決)
12日(金) 常任委員会
18日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
19日(金) 常任委員会
23日(火) 本会議(採決、散会)

※午前10時開始予定。
なお、日程は変更となる場合があります。

